

「働く女性」の自殺増

コロナ禍 環境変化要因か

厚生労働省の2021年

たことが分かった。

版自殺対策白書の概要が3
日までに判明した。新型コ
ロナウイルス感染拡大が起
きた20年の自殺の状況を過
去5年平均（15～19年）と

比較、分析した結果、増加
が顕著だった女性の自殺の
中で「被雇用者・勤め人」
が381人増と大幅に増
が381人増と大幅に増
え、原因・動機では「勤務
問題」が最も大きく増加し
たのは「職場環境の変化」

20年の自殺者数は2万1
081人（前年比912人
増）。男性は11年連続で減
少したが、女性は2年ぶり
に増加した。

「勤務問題」の内訳につ

いて過去5年平均との比較
で増加数が多かつたのは

用者・勤め人」が381人
増、「学生・生徒」も14
0人増。年齢階級別で増え

白書に盛り込まれたのは
警察庁の自殺統計を基にし
た分析結果。白書は11月上

（98・3%増）。白書はこ
の点を踏まえ「新型コロナ
の影響による労働環境の変
化が関連した可能性が示唆
される」と指摘している。

女性の職業別では「被雇
用者・勤め人」が381人
増）、増減率が最も高かつ
たのは「職場環境の変化」

み。

（98・3%増）。白書はこ
の点を踏まえ「新型コロナ
の影響による労働環境の変
化が関連した可能性が示唆
される」と指摘している。

悩み相談窓口

（厚生労働省のホームページより）



(0570) 783556
午前10時～午後10時
(0120) 783556
午後4時～午後9時、
毎月10日は
午前8時～翌日午前8時

